

令和6年度 桑名市の 予算

総額 1,088億4,274万円



桑名市長 伊藤 徳宇

令和6年度当初予算は、「新時代への扉を拓く挑戦予算」としています。今後、行政は、人口減少や気候変動への対応など、かつて経験したことのない難題に向き合う必要があります。

り、そのためにも、行政自体が根底から変革していく必要があると感じています。そこで、行政の変革を意味するPX（パブリックトランスフォーメーション）を提唱し、桑名市は本年を「PX元年」として位置づけました。

本市が、さまざまな分野で、いつもの「行政変革」を繰り返しながら、新しい時代に向けて力をつけ、そして、「新時代への扉を拓く」、そのような思いを込めて、桑名の新時代の幕開けにふさわしい過去最大規模の積極予算としています。

本市のまちづくりを支える三本の柱や重点プロジェクトの各事業に加え、人口減少対策や保育現場充実の各パッケージなどの予算を最大限確保するとともに、「令和6年能登半島地震」を受け、三本の柱の一角である「防災力の強化」について、改めて、その重要性を認識したことから、防災対策に係る予算の拡充を行いました。

目今の課題に対する迅速な対応と、将来に向けて積極的に種をまく投資、この両輪からなる令和6年度予算のもと、あらゆる世代、世界中の皆さんに選ばれるまちとなるよう、そして、夢のある未来へとつながるよう、「桑名らしいまちづくり」を進めてまいります。

財政のゆとりを示す経常収支比率は、直近の決算では、物価高騰などの影響を受けつつも、合併以降で2番目に良い数字でした。また、市のいわゆる貯金である基金についても、新市発足以来、過去最高額を更新しています。
今後も引き続き健全な財政経営を進め、本市を「住み続けられるまち」として発展させるための取組を進めてまいります。

令和6年度に行う事業の一部を紹介します

感震ブレーカー設置補助事業費 New!

南海トラフ地震の発生が危惧される中、地震発生時に自動的に電気の供給を遮断することができる感震ブレーカーの設置を促進することで、未だに火災被害の防止を図る。(100万円)

消防庁舎等再編整備事業費

消防本部の高台移転に加え、大山田分署、消防団詰所、大山田地区市民センター・まちづくり拠点施設との複合施設を建設することで、市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図る。(15億3,857.6万円)

国際戦略外国人支援プラットフォーム整備事業費 New!

外国人の生活に係るさまざまな相談に対応するとともに、外国人の立場やニーズにあう行政運営を行い、外国人からも選ばれる多文化共生社会への環境整備を行う。(921.2万円)

桑名北部東員線等

自動車交通の広域的分散、渋滞緩和や産業振興を図る重要路線として、スマートインターチェンジ事業と共に、桑名北部東員線の未整備区間である主要地方道四日市多度線～国道258号および大山田播磨線の整備を行う。(1億1,200万円)

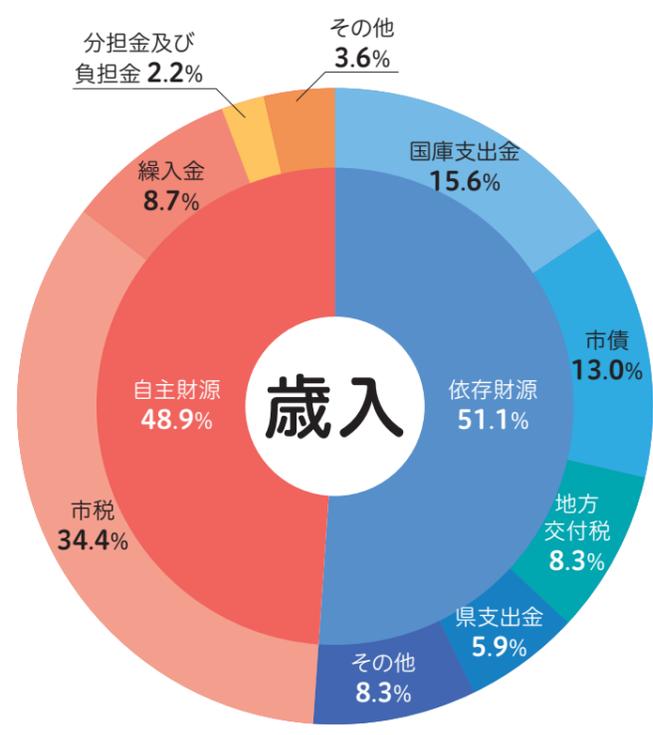
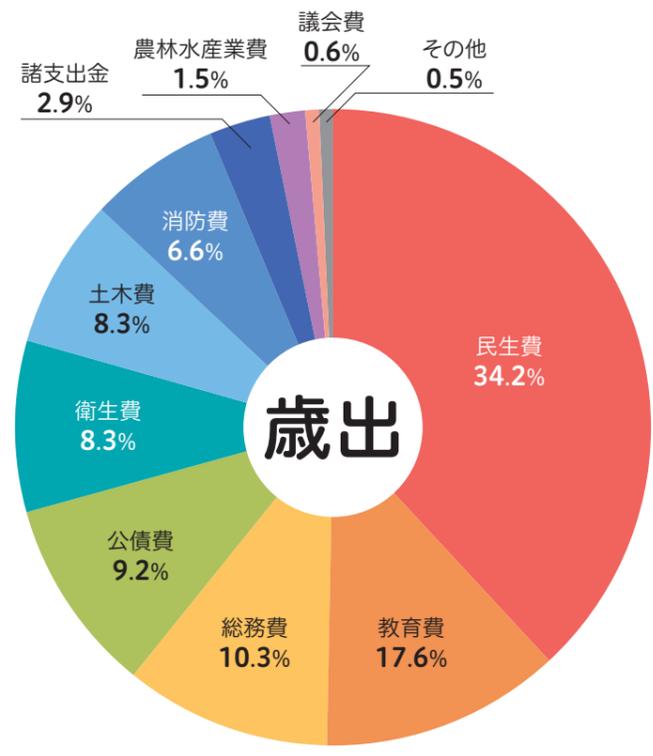
多度地区小中一貫校建設事業費

多度地区における小中一貫校整備の設計施工一括発注方式による事業者ノウハウを生かし、本年度は設計・工事・工事監理を行う。(53億7,500万円)

スポーツ施設改修事業費 New!

利用者の安全性を確保するために、総合運動公園サッカーメイングラウンドの人工芝の修繕を行う。(3億円)

問 財政課 (☎ 24-1137 FAX 24-6312)



依存財源…国や県から交付されるお金

- 国庫支出金…市の特定事業のために国から交付されるお金
- 市債 ……資金調達のために市が借り入れるお金
- 地方交付税…自治体が等しく事務を遂行できるよう国から交付されるお金
- 県支出金…市の特定事業のために県から交付されるお金

自主財源…市が自主的に調達できるお金

- 市税 ……市民税や固定資産税などの市民の皆さんからの税金
- 線入金 ……各種基金などから受け入れるお金
- 分担金及び負担金 ……特定の事業の受益者などが負担するお金

- 民生費 ……子どもや高齢者、障害者の福祉などに要する経費
- 教育費 ……小・中学校の教育施設や文化の向上などに要する経費
- 総務費 ……庁舎の管理、戸籍、徴税、選挙などに要する経費
- 公債費 ……借入金の返済に要する経費
- 衛生費 ……健康診断や予防接種、ごみの回収処理などに要する経費
- 土木費 ……道路や公園の維持管理などに要する経費
- 消防費 ……消防や救急、防災などに要する経費
- 諸支出金……公営企業会計への繰出金
- 農林水産業費…農林水産業の振興などに要する経費
- 議会費 ……議会の運営などに要する経費
- その他 ……商工業や観光の振興などに要する経費や予備費など

会計別予算

会計	区分		前年度比 (%)	
	令和6年度予算	令和5年度予算		
一般会計	639億4,975.2万円	543億6,734万円	17.6	
特別会計	国民健康保険事業	128億686.7万円	132億1,697.9万円	▲3.1
	農業集落排水事業	廃止	1億9,337.7万円	皆減
	介護保険事業	110億9,651.9万円	111億9,936.8万円	▲0.9
	後期高齢者医療事業	39億4,622.3万円	35億4,332.9万円	11.4
	地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業	10億1,372.2万円	10億7,352.2万円	▲5.6
	小計	288億6,333.1万円	292億2,657.5万円	▲1.2
企業会計	水道事業	58億1,846.2万円	60億2,961.2万円	▲3.5
	下水道事業	102億1,119.5万円	97億6,267.8万円	4.6
	小計	160億2,965.7万円	157億9,229万円	1.5
合計	1,088億4,274万円	993億8,620.5万円	9.5	

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

桑名市版「保育現場充実パッケージ」

保育現場の課題を少しでも解消し、子どもたちが安心して過ごせるように保育現場を整え、また現場で従事する保育士の皆さんを応援するため桑名市版「保育現場充実パッケージ」を策定しました。

このパッケージでは、保育士確保に向けた新たな支援策や保育現場における配置基準の緩和策、労働環境の改善に向けた支援策など、子どもたちの保育環境の充実と子どもたちの日々の成長を支える保育士などの皆さんを応援する6つの柱からなる施策となっています。各事業の詳細は市ホームページに掲載しています。

保育士等人材確保推進事業費

予算額 6,456.5万円

将来、市内の保育施設で就職しようとしている学生や、新たに市内の保育施設に就職する保育士などを対象にさまざまな取り組みを行います。

- 取組**
- ①修学資金貸付
 - ②住宅等就職応援一時金支給
 - ③保育士等紹介キャンペーンの実施
 - ④保育現場等PR事業
 - ⑤民間事業者との連携協定事業

おむつの回収とサブスクリプション導入事業費

予算額 795.3万円

市内の公立保育所で、保護者と保育士の双方の負担軽減のため、園でのおむつの回収とおむつのサブスクリプションの推進を図ります。また、私立の保育施設での園でのおむつを回収する経費の一部を補助します。

実施時期 公立保育所は6月から
私立保育園などは始まっています

第三者評価促進事業費

予算額 285万円

すべての公立保育所で運営体制や保育内容を評価する第三者の評価促進を図ります。また、私立の保育施設でも第三者評価を取り入れた園に対して、国の加算額を超えた費用を市独自の補助を行い、運営体制などを点検できる機会の確保を促進します。

手厚い保育士配置応援事業費

予算額 7,000万円

市内の保育施設における保育士配置基準緩和、保育士のノンコンタクトタイム、休暇取得の促進を図ることを目的に、手厚い配置にするために保育士を採用した園に対して、その人件費の補助を行うことにより、就学前施設全体の保育環境の改善を図ります。

内容 保育士の人件費を1園につき400万まで補助

保育士等就労継続応援事業費

予算額 1,500万円

保育士などの保育定員を確保し、待機児童の発生を抑制することや円滑な保育運営のため、必要な保育士などの人材を確保し、定着できるよう支援します。

対象者 市内の就学前教育・保育施設で継続して就労し、一定以上の就労年数に達した人

支給額 10万円(15年以上16年目の人は20万円)

全員参加型保育環境づくり事業費

予算額 636.5万円

保育士同士の交流を通じて組織を超えた横の連携を図るとともに、民間事業者の専門性などを活用して、行政のみの力だけでなく、全員参加型で保育環境づくりを行っていきます。

- 取組**
- ①保育士などの研修機会確保と交流促進
 - ②民間と連携した巡回相談・発達支援
 - ③テーマごと(言語聴覚士・看護師など)の意見交換会実施(施設訪問型)
 - ④保育士など専用ダイヤルの設置



問 SDGs推進課(☎24-7441 FAX24-2474)、子ども未来課(☎24-1172 FAX24-1393)、幼保支援課(☎41-2693 FAX24-1393)、都市管理課(☎24-1220 FAX24-1472)

今年度も桑名市の人口減少対策・子育て施策がすごい!



桑名市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

人口減少対策パッケージ「"14万"リバウンドプラン」

桑名市の人口は、平成27年の14万3千人をピークに減少し、現在では14万人を下回りました。そこで、市は令和5年度から人口減少対策に本気で取り組むため、あらゆる施策で人口増をめざしています。今年度予定されている「人口減少対策パッケージ」は昨年からの事業を倍増し、予算総額約16億8,324.6万円を計上。それぞれの事業をご紹介します。各事業の詳細は市ホームページに掲載しています。

結婚新生活支援事業

予算額 6,600万円

結婚に伴う新婚世帯を経済的に支援し、少子化対策を推進するため、住宅取得費用、住宅のリフォーム費用、住宅の賃貸費用および引っ越し費用の一部を補助します。

対象 今年の3/1から令和7年3/31までの間に婚姻届を提出し、受理された夫婦

条件 次の①～②のいずれにも該当すること

- ①世帯所得500万円未満
 - ②夫婦ともに結婚日における年齢が39歳以下
- 補助額** ①夫婦ともに29歳以下の世帯は60万円
②①以外の夫婦ともに39歳以下の世帯は30万円

移住・定住促進事業

予算額 5,330万円

働く世代の流入をより一層促進し、移住・定住を推進するため、以下の条件に合致し、市内で住宅を取得した人に、最大100万円の補助金を交付します。

対象 県外および市外から本市へ移住する目的で住宅取得(新築・中古)した人

条件 45歳以下(単身・夫婦)かつ5年以上定住する人

補助額 最大100万円 ※(基本)60万円で加算あり

- ①若年夫婦(29歳以下)30万円
- ②市内企業就業10万円



選べる桑名子育てリフレッシュ事業拡大

予算額 5,958.6万円

子育てする人が心身をリフレッシュできるような温泉、マッサージ、食事、エステ、骨盤ケアなどさまざまなプランで使えるデジタルチケットと一時預かりに使えるデジタルチケットを支給します。

対象 0歳～2歳児の子どもの保護者(令和4年4/1から令和7年3/31に出生されたひと)

支給 リフレッシュチケット11,000円分
一時預かりチケット3,000円分



移住促進空家等リフォーム補助金

予算額 1,500万円

空き家の利活用や市外から桑名市への移住を促進するため、市外から市内に移住し、購入した空き家をリフォームする人に補助金を交付します。

対象 市外から桑名市へ移住する人で、空き家をリフォームする人

支給 市外に1年以上住んでいる人で、市内転入後10年以上住める人

補助額 最大100万円